

や ま だ

福祉のひろば

社会福祉法人 山田町社会福祉協議会



2013. 9.15

9

No.113

もくじ

- ・ 一般会費の納入報告
障がいがある方たちの災害対応のてびき 2
- ・ 特集 ボランティアセンター 3
- ・ 赤い羽根共同募金のお願い 4・5
- ・ 福祉団体活動紹介 6
- ・ 事業紹介 7
- ・ 福祉基金 他 8

特集

ボランティアセンター



内地地豪雨災害支援派遣

～矢巾町のサポートに行ってきました！～

平成25年8月9日、停滞前線の活動により岩手県内陸を中心に記録的な豪雨がもたらされ、家屋の床上浸水や土砂災害が発生しました。これら災害に対応するため、盛岡市（繋地区）、雫石町、矢巾町において、各市町社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を立上げ、山田町社会福祉協議会から4名の職員がサポートとして8月15日から4日間、支援活動を行ってきました。

東日本大震災の多種多様なご支援に対し、微々たるものですが、恩返しのできる支援活動を展開してきました。

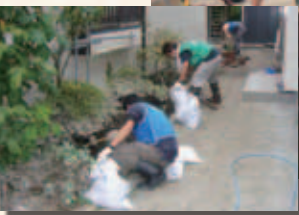
町商工会青年部によるボランティアグループ派遣、山田高校ボランティアグループのバック等、ボランティア不足を少しでも解消する支援活動も実施してきました。



山田高校
ボランティアの皆さん



町商工会青年部
ボランティアグループの皆さん



写真返却ボランティア活動

～写真と一緒に職員一同お待ちしております～

山田町社協復興支援愛センターでは山田町内のボランティアさんを始め多くの方々のお力を借りながら、写真を洗浄し、住民の方々が見やすいよう整理をし、1枚1枚写真を手に取り、ご親族・友人など知り合いがないかを捜して返却する活動を行っています。

当センターでは旧山田病院3階にて思い出写真展を開催しております。また、各地区のコミュニティセンターや仮設住宅談話室にて移動写真展を開催しております。今こそ、住民の皆様の人脈、情報が必要です。

ぜひ一度ご自身の写真を、
ご家族やご友人の写真を
捜しに来て見ませんか？！



山田町内の ボランティア活動

平成25年度が始まり早5か月が経ちます。今年度も様々なボランティア団体の方々に活動していただいております。ほんの一部になりますが、7月に来町していただいた愛知県東海市ボランティアの方々の活動をご紹介します。今回は2泊3日の活動で11か所の会場で写真立て作りや名古屋飯店を開催していただきました。活動の中で愛知県東海市と山田町の食文化や伝統、名産についてお話ししながら、同じ日本でありながら地域ごとの特性などの異文化交流をすることもできました。また参加者の方々の間でも、震災により音信不通になっていた方と再会を果たしていた場面も見受けられ、とても感慨深い活動となりました。このようなきっかけを作ってくださった東海市のボランティアの皆様始め、参加していただいた住民の方々へもこの場をお借りしてお礼申し上げます。今後も住民の方々が笑顔で安心して暮らせるまちづくりができれば、全力でお手伝いしていきたいと思っておりますので、いつでもお気軽にご相談ください。

山田町社会福祉協議会一般会費の納入の報告

平成25年度社会福祉協議会会費の納入について、町民の皆様にご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

皆様よりご協力いただいた会費は、町の地域福祉推進のため、各種事業へ有効に活用させていただきますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

また、会費とりまとめにご協力いただきました行政区長の皆様に深く感謝申し上げます。

ご協力ありがとうございました

豊間根 地区	985,000 円
大 沢 地区	459,000 円
山 田 地区	1,451,000 円
織 笠 地区	843,000 円
船 越 地区	1,243,500 円
総 額	4,981,500 円

※平成25年8月30日現在

障がいがある方たちの 災害対応のてびき

東日本大震災において多くの障がいのある方たちが犠牲になられた教訓を踏まえ、岩手県と県社会福祉協議会が「障がいのある方たちの災害対応のてびき」を作成しました。

この「てびき」は、災害時において障がいのある方が、大切な命を守るための日頃の備えや避難所での生活などについて配慮が必要なことをまとめています。

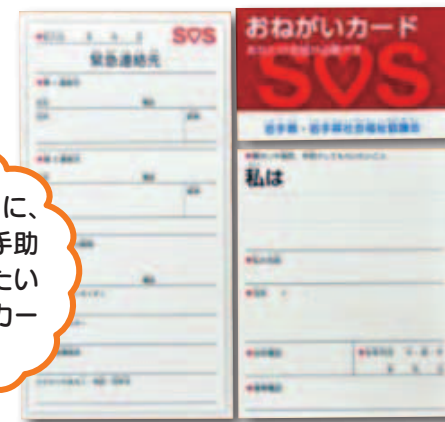
また、障がいのある方が災害などの緊急時だけでなく、普段の外出時などに自分の情報や手助けしてもらいたいことを伝える「おねがいカード」が中に綴じ込まれています。

障がいがある方には、岩手県から「てびき」がメール便で届けられますので、ぜひ内容を確認して災害に備えていただくとともに、いざという時に備えて「おねがいカード」を作成するようにお願いします。

なお、「おねがいカード」の作成は、最寄りの民生委員、社会福祉協議会または利用している障がい福祉サービス事業所がお手伝いしますので、ご相談ください。

この取り組みは、岩手県全体で推進するものですので、一般の方々にもご理解いただき、障がいのある方から「おねがいカード」で支援を求められた場合は、ご協力願います。

おねがいカードとは…



いざという時に、
自分の情報や手助け
してもらいたい
ことを伝えるカード
です。

次のような時に、手助けしてくれる人にカードを見せて、自分の情報を伝えましょう。

- ① 災害の時（避難する時や避難先など）
- ② 緊急の時（急な病気や発作で困った時など）
- ③ 普段の生活でも（外出中などに手助けがほしい時など）



町に愛を。胸に羽根を。

共同募金の寄付金は、社会課題を解決するための活動や、さまざまな地域課題の解決に向け取り組む団体の活動など、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、寄せられた地域内で役立てられています。



赤い羽根共同募金運動にご協力願います！

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まります。「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から、「歳末たすけあい募金運動」が12月1日から始まります。町民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

今年度の目標額は 3,531,000円です

東日本大震災により中断しておりました赤い羽根共同募金（戸別募金）を今年度より実施してまいります。町内全世帯へおおむね1,000円（赤い羽根共同募金700円、歳末たすけあい募金300円）をお願いしたいと考えております。（決して強制ではありません）行政区長さんが各世帯を訪問いたします。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

知っていますか？「赤い羽根共同募金」

◆共同募金はいつから始まったの？◆

昔、ヨーロッパのある村で、一人の牧師が「与えよ、とれよ」と書いた箱をつるしておいたところ、これを見た村人が、余裕のある人はいくらのお金を入れ、お金に困っている人は、必要なだけのお金をとって役立てられました。

この「たすけあいの心」が今の「赤い羽根共同募金」の始まりだといわれています。

◆日本ではいつはじまったの？◆

日本では、1947年（昭和22年）に、全国一斉に第1回目の共同募金運動が始まりました。

そのころの日本は、戦争が終わったばかりで、生活に困っている人がたくさんいました。

こうした困っている人たちのために、みんなで、助け合っていこうと共同募金運動が始まりました。

もちろん、平和な今でも「たすけあいの心」が大切なことには変わりありません。

どんな募金方法があるの？

戸別募金

行政区長さんの協力を得て各世帯に募金のご協力をお願いしています。

街頭募金

町内の団体などの方々に協力いただき、街頭で募金の呼掛けをします。

店頭募金

町内の店舗等に設置していただいた募金箱を通じて募金いただけます。

学校募金

福祉教育の一環として、子供達が福祉を学ぶために実施している募金です。

職域募金

会社や官公庁など、職場の社員・職員に呼びかけて協力をいただきます。

イベント募金

町内のチャリティ募金など、各種イベントによる募金です。

※ その他、「法人募金」「自販機募金」「ネット募金」などがあります。

東日本大震災に「赤い羽根共同募金」は使われたの？

東日本大震災 被災3県の災害ボランティアセンター等へ支援

赤い羽根共同募金会では、災害被災地を支援するために、赤い羽根共同募金の3%を災害等準備金として積み立てています。この資金をもとに、発災直後から災害ボランティアセンターの設置や運営等へ助成を行いました。

東日本大震災では、大規模、広範囲であることから、全国の共同募金会が支援しています。皆様の善意が全国各地から届けられました。

なぜ「目標額」があるの？ また封筒に「目安額」が書いてあるの？

赤い羽根共同募金は、事前に町内の福祉活動を行う団体から助成申請にもとづき、必要性・緊急性を考慮して配分計画を策定する「計画募金」です。その計画額が「目標額」になります。

また、共同募金は町民の皆様の善意にもとづく任意の募金です。募金額はご協力いただける範囲で結構です。「でもいくら位なの？」という場合はチラシに書いてある「目安額」を参考にしてください。

今年度集められた募金はどのように使われるの？

集まった募金の70%は、いただいた地域で使われます。残りの30%は、市町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われます。

*山田町でのつかいみち（一部を紹介します）

- 「サービス検討委員会」住民のニーズ分析、サービス開発の検討会
- 「サマーチャレンジやまだ」児童生徒とボランティアとの交流によるボランティア活動の普及啓発
- 「男女出会い支援事業」男女の出会いを提供
- 「気がるにボランティア」ボランティア情報誌発行による普及啓発
- 「親子カフェ」子育て中の母親交流事業
- 「大人カフェ」未成年の子を持つ親の交流事業
- 「よりあっこ」小地域別サロン
- 「まどづけえ号」お楽しみバス運行事業
- 「福祉のひろば」社協広報誌（本誌）

他「お座敷ひろば」「喜寿を祝う会」「社会福祉大会」などに使われています。



歳末たすけあい募金運動

12月1日から12月31日まで歳末たすけあい募金運動を実施します。

町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



たすけあい、支え合えるまちづくりを目指す募金活動について改めてご理解いただき、皆様のご協力をお待ちしております。

【お問合せ先】

山田町共同募金委員会（山田町社会福祉協議会内）
TEL 77-3260 FAX 77-3261

事業紹介

山田町社会福祉協議会では、様々な地域福祉事業に取り組んでいます。その一部を紹介します。

親子カフェ「TANNA」



親子のふれあいや母親同士の交流、情報交換の場として、また、リフレッシュできる空間の提供として、「TANNA」（たんな）を開催しています。

日時：毎週月曜日～金曜日
9：00～12：00 13：00～15：00
場所：旧山田病院（八幡町）3階
対象：0歳～6歳までの就学前のお子さんとその保護者
料金：無料

カフェ「よりあっこ」

誰もが気軽に立ち寄れる交流の場を提供することを目的に仮設住宅の集会所や談話室で、談話室がない仮設住宅では、テントやパラソルで、また、コミュニティセンターや自宅をお借りして在宅の方を対象に「よりあっこ」を開催しています。

カフェ「よりあっこ」に参加の皆さんです！



【担い手センター・II 仮設住宅】歌や踊りが大好きな皆さんです。

【関谷果樹園仮設住宅】きれいな歌声はどこにも負けません。



【間木戸仮設住宅】とても明るく笑い声のたえない皆さんです。

【旧長崎団地仮設住宅】いつもお話が弾みます。



【関谷1区のみなさん】毎日にぎやかなよりあっこです。

【南小学校仮設住宅】毎朝のラジオ体操が日課です。



身体障害者協議会



大健闘！障がい者スポーツ大会

6月1日（土）、第15回岩手県身体障がい者スポーツ大会が盛岡市の県営運動公園陸上競技場など三会場で開催されました。山田町からは、水泳・卓球・フライングディスクに出場、水泳平泳ぎで1位、フライングディスクでは3位と健闘しました。当日は天候にも恵まれ、晴天の下、スポーツを通じて交流を深めました。

老人クラブ連合会



労苦に感謝！功労者を表彰

6月13日（木）、山田町中央公民館大ホールにて平成25年度「山田町老人大会」が開催されました。式典では、これまでの老人クラブ活動の功績をたたえ、老人クラブ育成功労者33名、社会福祉功労者3名が表彰されました。また、演芸大会では、歌に踊りにと日頃の練習の成果を披露し、盛り上がりしました。

母子寡婦福祉協議会

餅つき交流会で親睦深める



6月18日（火）、滝沢村と山田町の母子寡婦福祉協議会の交流会が、山田町中央コミュニティセンターにて開催されました。この交流会は、滝沢村母子寡婦福祉協議会が被災地支援活動の一環として、餅つきをしながら交流を図ると共に今後の復興支援活動につなげたいとの目的で行われました。交流会でついたお餅を仮設住宅の方々に届けながら訪問活動を行い、参加された52名の会員からは「本格的な餅つきをしたのは久々で楽しかった」「これを機に交流を深めたい」と貴重な機会とご支援を頂いたことに感謝しながら親睦を深めました。

民生児童委員協議会



一戸町民児協 山田町を訪れる

7月24日（水）、一戸町民生児童委員協議会23名が、今後の活動に生かしたいと山田町を訪れ、中央コミュニティセンターにて交流研修会を行いました。山田町民生児童委員協議会の各地区の会長から、被害状況、震災当時から現在までの活動が話され、交流会後は、バスで町内の被災地を視察しました。

手をつなぐ親の会



みんなで助け合いながらゲームを楽しむ

7月22日（月）山田町中央公民館小ホールにて「手をつなぐ親の会親子交流会」が開催されました。参加者ははまなす学園、グループホーム希望から総勢88名。県育成会スタッフ指導の下、フライングディスクやユニホックのゲーム等を行い、参加者同士、親子の交流を図り、親睦を深めました。

福祉基金

善意のご寄付ありがとうございました

会長 横田 隆男

基金の果実による資金は、山田町民全体の地域福祉増進のため、有効に活用させていただきます。平成25年4月1日から平成25年8月8日まで、次の方々から福祉基金として、ご寄付をいただきました。

- 個人・団体からの寄付金
- 香典返しやお祝い
- 催し物による収益金 等

寄付金

- ◆ 一般社団法人 岩手県高圧ガス協会
宮古支部 青年部会 様 51,360 円
- ◆ 横 浜 笙 子 様 20,000 円
- ◆ 匿 名 様 100,000 円
- ◆ 沼 崎 愛 子 様 20,000 円

平成25年度 累計額 **191,360 円**

ありがとうございました



山田町社会福祉協議会 お問合せ一覧

▶ 社協全般に関することなら……総務課

- ・事務局 82-3841
- 090-3123-6208 (携帯)

▶ 介護保険に関することなら……介護保険課

- ・ケアマネージャー 82-5687
- ・ヘルパー・入浴車 82-4000

山田町保健・老人福祉センター
(住所：山田町八幡町 3-20)

▶ 地域福祉に関することなら……地域福祉課

- ・生活支援相談員 77-3260

▶ ボランティアに関することなら……

- ・復興支え愛センター 77-3262
- 山田町社協生活支援センター(旧山田病院 3 階)
- (住所：山田町八幡町 12-9)

健康教室「さわやかさん」の参加者を募集しています

65 歳以上の一人暮らしの男性を対象に、できる限り自立した生活が送れるよう、調理の基本的な技術を学び、今後の生活に役立てる。また、参加者同士の交流を通じて仲間づくりを進め、生きがいの増進を図ることを目的に月に 1 回開催しています。

○ 今後の開催予定は…

9 月 18 日 (水)・10 月 15 日 (火)
11 月 20 日 (水)・12 月 19 日 (木)

○ 時間 … 10:00 ~ 13:30

○ 場所 … 山田町中央コミュニティセンター

○ 会費 … 300 円 (当日会場にて徴収)

[申し込み・お問合せ先]

山田町社会福祉協議会 090-1492-6874 まで

※必ず事前申し込みが必要です。

※電話申し込み…平日 8:30 ~ 17:00 まで

お気軽にお問い合わせください。

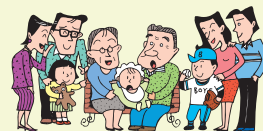
お手伝いします 安心・安らぎ・生きがいのある暮らし

株式会社 小田島アクティ

本社 岩手県花巻市東町1-5 ホームページアドレス<http://www.odashima-acty.co.jp>

福祉用具・介護用品関係

レ ン タ ル	介護用品販売	大人用紙おむつ宅配	住 宅 改 修	医療機器販売	カタログのご案内
介護用品部	釜石営業所 岩手営業所 高田営業所	釜石市鶴住居町第3地割48-2 日建リース工業内企業団地B棟-1 盛岡市津志田町1丁目11番15号 陸前高田市高田町字鳴石15-1 区画1	電話0193-28-3801 電話019-636-1208 電話0192-55-5228	FAX0193-28-3821 FAX019-636-1203 FAX0192-55-5340	
福祉用具センター	ぼだいじゅ ぼだいじゅ一関	花巻市東町1番5号 一関市山目字前田72-1	電話0198-21-1037 電話0191-23-6140	FAX0198-24-3787 FAX0191-23-6140	
医療食品・通信販売	医療食品部内 まごころ受注センター	盛岡市津志田町1丁目15番37号	電話フリーダイヤル0120-92-1480 FAXフリーダイヤル0120-92-1478		



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 **山田町社会福祉協議会**

〒028-1341 岩手県下閉伊郡山田町八幡町 3 番 20 号 山田町保健・老人福祉センター内
TEL: 0193-82-3841 FAX: 0193-82-5670

E-mail: y-shakyo@echna.ne.jp ホームページ <http://www.yamada-shakyo.or.jp>

[企画・発行] 社会福祉法人 山田町社会福祉協議会 [印刷] 株式会社 東海印刷所

※ 広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。